

21. 浚渫土砂の有効利用事例（漁港内浚渫土砂）

対象原泥	発生種別	地盤改良工事排泥	連続地中壁工事排泥	泥土圧シールド排泥	浚渫工事土砂
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比（%）	原泥 150% 貯泥・調泥なし（デカントによる処理後の残渣物）			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5～15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	残土利用
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	S-1T			
	同上使用量（kg）	15kg			
	固化材	アッシュスター	エコハード	ハーデン	有機質対応型
	同上使用量（kg）	170kg			
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	190m ³			
	総量（m ³ ）	5,000m ³	処理機構成	40m ³ 機×1台	

【概要説明】

本工事は、ポンプ浚渫による浚渫土砂のうち砂分を分級により除去し、薬剤によって凝集沈殿後サイクロン脱水により含水比を低下（100%程度）させた泥土を粒状固化処理する工事である。改良土は近接地域で盛土材として利用。



砂分級



施工ヤード全景



固化処理プラント



改良土仮置き状況